



第76号



TOKUSHIMA PREFECTURAL INTERNATIONAL EXCHANGE ASSOCIATION



2019.05

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

TEL：088-656-3303



H30年度のTOPIAの
活動写真だよ！



外国人材受入拡大に伴うTOPIAの新たな取り組み

平成30年12月の出入国管理法の改正による新たな在留資格制度の創設を受け、外国人材の円滑な受入れと外国人との共生社会の実現に向けて、国や県においては、様々な受入環境の整備や支援施策が実施されることになりました。

徳島県では、「住むなら徳島！外国人とともに輝く地域づくり」の方針のもと、外国人の相談体制の拡充をはじめ、日本語教育の充実、外国人受入環境の整備、地域住民との交流促進、就労の支援を柱とした新たな施策が、今年度、開始されました。

これを受け、当協会では、これまで英語と中国語による生活等相談を実施しているところです。増加の著しいベトナム人に対応するため、今年4月1日から、新たに「ベトナム語窓口相談員」を配置し、ベトナム語での相談も開始いたしました。また、英語、中国語、ベトナム語以外の言語においては、通訳システムによる対応を整備いたします。

更に、県下の各地域に外国人が増加することが想定されるため、外国人の受入環境の整備や地域住民との交流が円滑に実施されるよう、今年4月1日から「地域外国人コーディネーター」という専門職員を配置し、自治体、行政機関及び支援機関との連絡調整を密に行い、連携して相談支援に取り組むことといたしました。

今後は、英語、中国語及びベトナム語の「窓口相談員」と「地域外国人コーディネーター」を核に、様々な言語に対応できる体制を整え、徳島で暮らす外国人の悩みごとに寄り添い、外国人の孤立を防ぐべく地域との交流を深め、地域の県民と外国人が共に笑顔で暮らせるよう取り組んで参ります。

公益財団法人徳島県国際交流協会 令和元年度事業計画

○ 国際交流及び国際協力の推進

★阿波おどり交流事業

時期：令和元年8月14日（水）

場所：市内演舞場

- ・伝統的な郷土文化である阿波おどりにおいて、在住外国人と県民による混成連「あらそわ連」でおどりを共に楽しみ、相互理解を深め、国際親善を図ります。

★ホームステイ・ホームビジット受入事業

時期：秋頃

場所：徳島県内

- ・徳島県在住の留学生を対象に1泊2日のホームステイ、日帰りのホームビジットを実施致します。受け入れに興味のある方はお問い合わせください。

★在外県人会及び海外移住家族連絡交流事業

★中高校生夏期英語セミナー

時期：令和元年8月12日（月・祝）～14日（水）

場所：徳島県内

- ・外国語指導助手（ALT）と県下中学生、高校生を対象に宿泊施設で合宿を行い、英語によるコミュニケーションをとって地域の国際化を担う青少年の育成を図り、異文化理解を深めます。



あらそわ連



ホームステイ・ホームビジット



中高校生夏期英語セミナー

★外国人による日本語弁論大会

時期：令和元年7月21日（日）

スピーチの部：午後1時30分～午後4時30分

交流の部：午後4時45分～1時間程度

場所：あわぎんホール 5階小ホール

- ・県内在住外国人が日本語での弁論とともに会場参加者との意見交換や交流会を行い、異文化理解、多文化共生の促進を図ります。

○ 多文化共生及び国際理解の推進

★外国人にやさしい徳島づくり推進事業

★ ONE WORLD こども支援事業

○ 国際交流・多文化共生・国際理解に係る情報の収集及び発信

★とくしま国際戦略センター推進事業

★情報誌「AWA LIFE」及び「阿波生活」の発行

★機関誌「TOPIA」の発行



○ 受託事業

- ★外国青年招致事業
- ★国際交流・協力ボランティア普及事業
- ★外国人にやさしい徳島づくり推進事業
- ★とくしま国際戦略センター推進事業
- ★外国人観光客案内事業
- ★旅券発給補助事業



専門ボランティアスキルアップ



防災センタースタディツアー



日本語教室



国際理解支援講師派遣



国際理解支援フォーラム



日本語弁論大会

○令和元年度新規事業

★地域外国人支援事業

各地域での外国人の受入環境を整備するため、地域外国人コーディネーターを各地域に派遣し、外国人受入のノウハウ等が不足している地域に対し、市町村及び交流団体等向けの外国人受入支援の講習会等を開催します。

また、各地域における多文化共生の取り組みの更なる促進を図るため、市町村及び交流団体と連携し、地域住民と外国人の交流会等を開催し、外国人の地域活動への参加を促進するとともに、地域住民と、そこに在住する外国人とのネットワークを形成します。

★多文化共生総合相談ワンストップセンター整備事業

当協会を核として、多文化共生総合相談ワンストップセンターでの相談体制を整備するため、通訳の配置・多言語翻訳システムの導入による多言語対応などの相談体制の拡充を図ります。

今年度からは英語と中国語に加えて、ベトナム語の多言語窓口相談員を配置しました。

この春に2人の方がTOPIAでの任期を終えられました。在任中は徳島県の国際交流推進などに努めていただきました。これからの益々のご活躍を期待しております！また、4月からは4人の方が着任いたしました。

地域とともに成長していく「ヨソモノ」

前徳島県国際交流員
張 楠

三好市地域おこし協力隊の募集事項を読んでいるうちに、「ヨソモノ」の文字が目に入り、2年間近くの徳島での生活が走馬燈のように頭の中に浮かんできました。徳島に来たばかりの時、知り合いが一人もいなかった私は、同僚たちが助けてくれたおかげで見知らぬ土地での新しい仕事と生活にすぐ慣れました。偶然にもCIRの仲間と一緒に無双連に入り、私の阿波生活もその時本格的なスタートを切りました。

阿波おどりに熱中し、踊れば踊るほど、いろいろな物事を学んだり感じたりすることが増えていき、日本の伝統文化や徳島の風土、人情について理解が深まってきました。梅雨明けの夏の夜の練習は大変でしたが、汗をかいた後、海の匂いがする夜風を浴びるのはとても気持ち良かったです。本番では、演舞場の入り口に立つたびに、熱気溢れる現場の雰囲気と緊張感にワクワクしていましたが、4日間連続で踊ってもまだ物足りなく感じました。阿波おどりを通して日本、徳島での生活に溶け込むことができ、新しい友だちもたくさんできました。阿波おどりのおかげで、徳島の人々も「ヨソモノ」の私を認めてくれて、受け入れてくれて、楽しみや喜びを分かち合ってくれました。

もちろん、徳島には阿波おどり以外にも、豊かで美しい自然、新鮮で美味しい海の幸、野菜や果物、長い歴史を有する四国遍路、魅力に満ちた藍染めなどもあります。そのすべてに魅せられ、憧れていますが、一番感銘したのは徳島の地元の人々です。生活や仕事に対していつも勤勉な阿波の人々、県外や海外からのお客様に対していつも親切な阿波の人々、阿波おどりにいつもこだわりと誇りを持っている阿波の人々。「ヨソモノ」として、阿波の人々と一緒に仕事したり、生活したり、阿波おどりと阿波文化を楽しんだりできるのはとても幸せなことです。この場をお借りして、今まで2年間大変お世話になってきた同僚の皆さん、友達の皆さん、仲間の皆さんに感謝申し上げます。

日本では、4月は桜満開の季節であり、新しい旅立ちの季節でもあります。私にとって、今年の4月こそが特別な時期です。国際交流員の仕事が終わると同時に三好市地域おこし協力隊の一員となります。それは出会えた皆さんとお互いに認め合い、受け容れ合ってきた結果です。新しい仕事や生活でも、徳島の人々と力を合わせて共に成長していきます。一緒にますます阿波おどりを楽しみながら、徳島の地域の魅力と阿波文化を感じ取って世界に発信していきます。



TOPIA の理念と活動に学ぶ

前長期社会体験研修生
藤井 紀代美

教員の長期社会体験研修生として、2年間トピアで勉強させていただきました。超～スロースタートを切った私を、手取り足取り、丁寧にスタッフの皆さんが面倒を見て下さいました。少しずつ仕事に慣れてからも、度々躓いたのですが、その都度、皆さんにピンチから救っていただきました。温かい見守りやご指導に対し感謝申し上げます。

さてトピアは、多文化共生社会推進の理念を持って、国際交流を通して日々啓発的な活動を展開しております。これはまさに学校教育の目指すところであり、徳島県教育大綱にも掲げられている、「徳島から世界の扉を開く」人材が育つための素地づくりに結ぶことができます。

業務に携わるなかにも教育上のヒントが数多くありました。国際理解支援講師派遣を通して、幼少時から外国の方々とふれ合い、自然に多文化に親しみ受け容れる経験を持たせることの重要性をはじめ、外国にルーツを持つ子どもた



ちや保護者への理解、配慮。やさしい日本語遣いや日本語教育の充実の必要性。在住者のリテラシーの問題や生活上の問題に寄り添うこと。防災教育における自他のいのちを守るための実践。自国文化に対する理解を深め、郷土愛を育み、阿波文化発信やアイデンティティの醸成に繋げること、等々です。

そして何より、実務を通して自分自身にも変化がありました。様々な文化に対する驚きや敬意はもちろん、大変熱心な外国人の皆さん、国際理解に活躍してこられた皆さんと繋がることができたこと。言語習得に向き合う姿勢を見直すと共に面白さも見いだしたこと。日本の、阿波の言葉や文化の奥深さを再認識し、自分の勉強不足を痛感すると同時に、ますます興味が湧いてきたこと。徳島のツーリズム振興への関心が高まったことなどです。おまけに、阿波おどりもそこそこ上手になってきました。「せかいのひとつ。あらそわれん！」

今後もトピアフレンズの皆様とのご縁を大切に、温かい交流を続けさせていただければと願っております。重ねて、お世話になったおひとりおひとりに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

TOPIA ニューフェイス



一期一会

湖南省と徳島県の友好の架け橋になる



徳島県国際交流員
劉 苗苗



このたび、徳島県国際交流員として着任いたしました劉苗苗です。2017年10月、日本語通訳として中国湖南省人民政府外事弁公室に入職しました。入職して以来、湖南省と日本の交流事業に積極的に取り組んできました。去年4月に長沙で開催された第36回中日経済知識交流会、5月の湖南省政府代表団の訪日、11月の湖南省・滋賀県友好提携35周年記念事業など一連の活動を通じて、自分の通訳とコミュニケーション能力が向上し、異文化交流という仕事の魅力をつくづく実感することができました。

私は去年初めて徳島県に訪問することができました。徳島県立工業技術センターの中小企業へのサポート、県民のおもてなし、迫力の鳴門の渦潮、地元の人々が情熱をこめて踊った阿波踊り、穏やかな町風景などどれも印象深いです。短い時間ですが、徳島県はとても生活しやすいところだと感じました。

湖南省と徳島県は2011年10月24日に友好提携して以来、双方は医療、文化、体育などの分野で一連の交流が展開されましたが、市レベルの姉妹都市提携、経済貿易、農業、観光といった分野の協力にもたくさんの潜在力があると思います。

今回のプロジェクトを通じて、日本の文化と進んだ経験を学び、双方の相互理解を深め、協力可能な分野を見出し、これからの実務的協力のため自分のささやかな力を尽くしていきたいと思います。

ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

共生社会の実現に向けて

地域外国人コーディネーター
滝 壽郎

この度、新設された「地域外国人コーディネーター」に着任しました。多言語生活相談・観光案内の総括や県内市町村や県内国際交流協会等と連携して地域外国人支援事業などに取り組みます。

私は、大学を卒業後、徳島県職員となり定年まで勤めましたが、この間には、医療・福祉や市町村、観光、防災、情報、文化・スポーツなどに関する仕事もしてきました。これまでの知識経験をこのコーディネーターの仕事に生かしていきたいと思っています。

また、視察や観光で外国に行ったり、若い頃には外国文学（日本語訳された



もの)に親しんだりしましたが、これからさらに国際理解を深めなければと決意しています。

経済活動や文化活動がグローバル化しているなかで、徳島県内にも、多くの外国人の方々が暮らしています。徳島での生活を楽しんだり、持てる力を発揮しさらに飛躍しようとしていたりしている方々がいる一方で、日本語や地域社会の慣習に慣れず、不安を抱きながら暮らしている方々もいらっしゃると思います。

国際交流団体や行政機関、企業団体、ボランティアなど、いろんな立場で外国人に関係する方々と力を合わせて、日本人も外国人も、ともに、この徳島に住んで良かったと思える共生社会の実現に向けて、その一助になればと願っています。

私と徳島のすてきな縁

ベトナム語窓口相談員
宮地 美楽

ベトナムから来ました、LAI MỸ LẠCと申します。日本名は宮地(みやち)美楽(みらく)です。日本に約6年間住んでいますが徳島の事が気に入ったのはずいぶん前からでした。2005年8月、出張のため徳島市と鳴門市に来て美味しい料理を食べさせていただいたり、うずしおを見せていただいたりしました。その時、帰国したらずっとざるうどんを食べたいと思っていました。その3年後、2008年に徳島の人と結婚しました。

私はベトナムで15年以上、外資系の会社で経理の仕事に携わっていました。出張でいろいろな国へ行ったことがあり、その時に多言語の勉強も達成しました。正しい簿記/経理をするためには観察力、判断力、慎重な性格は不可欠です。仕事をしながらその技術を身につけました。

この度、徳島県国際交流協会に採用されて自分の能力をなるべく引き出して仕事をしたいと思います。最も重要なことは皆様の御支援と御指導です。それがいなければどんな困難でも諦めずやっていけると思います。

在住ベトナム人の方をはじめ、多くの人との出会い大切にしながら頑張っていきたいと思っています。



教室の外から見る景色

長期社会体験研修生
齋藤 智子



みなさん、初めまして。4月よりTOPIAで長期社会体験研修生としてお世話になることになりました齋藤智子です。中学校で英語の教員をしています。趣味は美味しいものを食べて、美しい舞台や映画などを見ることです。部活で担当していた剣道を頑張りたいという気持ちもありますが、美味しいものを食べることでばかりになって練習ができていません。

さて、私はALTの先生と一緒に、英語を使ってコミュニケーションをすることの楽しさを伝えたいと思い、これまで授業を行ってきました。しかし、グローバル化が進む多文化共生社会の中では、それに加えて、他の外国語を知ることも大切であり、日本を訪れる外国の方に対して心を込めて日本語でコミュニケーションする力も必要だと感じています。

ここTOPIAは、日本語教室のお手伝いや外国人観光客の方への対応などを通して、様々な文化的背景をもつ方々と関わることができ、徳島のよさも再発見できる場所だと思っています。この場所でしかできない経験を大切に、まずは自分自身の視野を広げ、地元徳島と日本に興味をもってくださる外国人の方をつなぐ1人となれるよう、少しずつ努力して参ります。そして、研修後には、多文化を認め合い、徳島のよさを世界に発信できるような活動を子どもたちとともに行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

～県内国際交流団体活動紹介～

トーストマスターズクラブで世界と繋がる

徳島TMC初代会長
田村 実

トーストマスターズは、Communication & Leadershipを学ぶ世界143カ国に約16,600のクラブ、約36万人のメンバーを有する90年余の歴史を持つ非営利団体です。国内には、約200のクラブ、四国には徳島以外に、高松、高知、今治と松山にあります。

徳島トーストマスターズクラブでは、毎月第三日曜日（原則）が例会日、3種類の英語のスピーチをします。1. Prepared speech - メンバーが課題に基づき、自身で作った7分のスピーチをします。2. Evaluation speech - そのスピーチの評価スピーチを3分でします。3. Table topics speech - その場で提供されたテーマにつき2分間のスピーチをします。例会をスムーズに運営し、楽しく、有意義でかつ学びの多い内容にする為、進行係、計時係、投票係等の役割をメンバーが担います。先生はいなく、アメリカの本部から提供される豊富なプログラムに則り、自身のペースでスピーチを進めていきます。

英会話教室ではスピーチを学ぶ事はできません。四国で最初のクラブ設立の為に、有志で準備を進め、2000年9月に東京～福岡から多くの応援を得てデモ例会を実施しました。徳島新聞にも掲載され、多くの賛同者を得て、2000年12月28日、アメリカ本部から設立承認となりました。それ以降19年に渡り、30名を超える多くのメンバーが、様々な原稿を作り、練習し、みんなの前でスピーチをしてきました。会費は、月々1000円と、負担感の無い金額です。

クラブの10周年を記念し、2010年5月春季全国大会を、地方で初めて開催する事にチャレンジし、通常のプログラムに加え、徳島らしさを知ってもらう為、阿波踊り、人形浄瑠璃も上演、“おもてなし hospitality” を楽しんでもらい、成功裏に開催できました。昨年は、イギリス人の女性メンバーが日本代表となりシカゴの世界大会に参加、徳島のメンバーは7人が応援にも行ったモチベーションも高いクラブです。2020年には、20周年記念を計画しており、オリンピックの開催に合わせ、次のステージへの成長と更なる継続を願うイベントを実施する予定です。

トーストマスターズで学び、何が役立っているか？

1. 人前で、中身があり説得力のあるスピーチをします。特に英語で行う事に自信が持てます。
2. 共に学ぶ多くの業種、幅広い年齢層のメンバーとの交流、切磋琢磨で、1人では不可能な成長、communicationとleadershipのスキル向上が可能になります。
3. 全国にあるクラブの例会への参加はもちろん、世界各国のクラブへ参加ができ、多くの素晴らしい人々との交流が持てます。

英検1級、ガイド通訳、TOEIC 満点等、高い英語レベルのメンバーも数人いますが、英検2級程度で、十分、一緒に学んでいけます。昨年から、IT technologyを活用した、PATHWAYS という新しいプログラムが導入され、より専門的なニーズに合ったスキルアップが可能になってきています。AIがどんどん進化しても、communicationとleadershipの取得は不可欠です。18歳以上で、継続意欲があれば、どなたでも歓迎です。一度、トピアで開催の例会を、ゲストで覗いて見て下さい。貴方の人生、大きな転機の出会となるかも！詳しくは、<https://tokushima.toastmastersclubs.org/>まで。



「とくしま外国人支援ボランティア会員」

募 集 中

徳島には約80カ国、6,000人を超える外国人の方が住んでおり、今年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

また来年の「東京オリンピック」、更にはその翌年の「ワールドマスターズゲーム2021」の開催により、ますます多くの外国人をサポートするボランティアが必要になると見込まれております。ぜひご登録いただき一緒に活動しませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページに新設された「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。

英語・中国語・ベトナム語による 多言語電話相談・窓口案内を行っています

県内在住外国人および旅行等で来県する外国人の方へ、生活相談や観光案内ができるよう、英語・中国語・ベトナム語対応の相談（窓口案内）員を配置しています。

電話での相談の際に通訳が必要な場合には三者通話（トリオフオン）もごございます。是非、ご利用ください。

受付時間：平日 10：00～18：00

T E L：088-656-3320（相談電話）

日時、内容等により依頼にお応えできない場合がありますので、ご了承ください。

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報や会議室の予約を優先して受けることができます。さらに特典の充実に務めてまいります。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

在住外国人の方対象の「防災出前講座」を ご利用下さい！

当協会では、近年危惧されている南海トラフ巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座（言語：やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語）を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。＊申込は当協会まで。



問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>